

# 弘前市と弘前大学の連携協定に基づくデータ提供と分析の 対象の方へ

弘前市は弘前大学と連携協定を締結し、弘前大学へ特定健診データ、医療費データなどを提供するとともに、分析を委託しました(提供される情報は、氏名等を削除することで匿名化を施し、個人の特定や、識別されることはありません)。分析結果は、市民が健康になるための施策へ活用することを通じて、市民の健康寿命の延伸と地域の活性化につなげられます。東京大学は弘前大学から分析を受託し、弘前市における生活習慣病の各種予防対策を講ずるべき対象者の選定基準、各種対策の目標指標の検討、各種対策の妥当性及び経済効果の検証をお手伝いします。

この研究の対象者に該当する可能性がある方で、研究内容を詳しくお知りになりたい場合は 2024 年 3 月 31 日までに末尾に記載の問い合わせ先までご連絡ください。

## 【研究課題】

日本の地域社会における革新的な健康意識向上プログラムの医療費削減効果(審査番号 2023080NI)

## 【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

主任研究機関	東京大学大学院薬学系研究科・医薬政策学講座
研究責任者	滕麗達
担当業務	研究計画立案・データ解析

## 【共同研究機関】

主任研究機関	弘前大学大学院医学研究科
研究代表者	中路重之
機関の長	廣田和美
担当業務	研究計画立案・データ取得・匿名化

この研究に利用する特定健診データ、医療・介護費データ、岩木健診データは東京大学大学院薬学系研究科・医薬政策学講座及び弘前大学大学院医学研究科の範囲のみで利用されます。

## 【研究期間】

承認日～2024年3月31日

## 【対象となる方】

2015年7月1日時点で6カ月以上継続して弘前市国民健康保険の被保険者だった方、および2015年7月1日時点で被保険者の資格喪失していなかった方で、2015年4月から2020年3月の間に何らかの医療資源・介護資源を利用した方、あるいは特定健診を受けた方

### 【研究目的・意義】

青森県は 1975 年以降継続して日本で最も平均寿命が短く、また全国平均との差は 2020 年の最新統計に至るまで拡大してきました。日本では生活習慣病や早期死亡の予防のため、全国の 40 歳以上の集団を対象に特定健診を行ってきましたが、参加率は地域によって差が大きく、長期的効果は疑問視されています。

弘前大学では 2005 年から、弘前市岩木地区の住民を対象に大規模合同健康調査（岩木健診）を開始しました。この健診の特徴は、受診者一人当たり約 3,000 項目の調査項目を設けることで、巨大な健康ビッグデータ（岩木健診データ）を記録している点です。岩木健診データの解析により、住民の健康維持・増進、日常活動や生活の質向上につなげるだけでなく、疾病の早期発見を可能にし、予防方法の創出と検証を行い、その成果を住民に還元する研究活動を行っています。2013 年からは JST（国立研究開発法人科学技術振興機構）のプログラムに採択されて継続しています。

本研究では弘前市民の健康状態改善に資する情報の取得と提供のために、弘前市の保有する国民健康保険被保険者の医療・介護レセプトデータ、特定健診データ、及び弘前大学の保有する岩木健診データを、匿名化された状態で取得・分析して、特定健診受診、および啓発型健診受診による医療費削減効果を把握することを目的とします。

### 【研究の方法】

弘前市と弘前大学の連携協定に基づいて作成される、匿名化済みの国民健康保険被保険者の医療・介護レセプトデータ、特定健診データ、及び弘前大学が保有・管理する匿名化済みの岩木健診データを取得して分析する研究です。匿名化は、匿名加工技術を有する ICI 株式会社 が、弘前市役所内で実施しました。データは DVD に格納され郵送で東京大学に提供されます。

東京大学が取得するデータに格納される情報は次の通りです。

- ・ 特定健診データ：受診日、生年月、性別、特定健診の検査項目とその結果の値
- ・ 医療レセプトデータ：診療年月、単価、数量、回数、点数、決定点数、点数表、摘要区分、診療識別、摘要コード、薬効分類、特定器材名称、傷病名、傷病名コード、転記区分コード、診療開始年月日、疑い区分、主傷病、ICD\_10、入外区分、
- ・ 介護レセプトデータ：サービス提供年月、サービス種類、給付実績番号、介護度、保険請求額
- ・ 岩木健診データ：岩木健診の調査項目とその結果の値

特に研究対象者の皆さんに新たにご負担いただくことはありません。

なお、研究計画書や研究の方法に関する資料を入手・閲覧して、研究内容を詳しくお知りになりたい場合は、末尾の連絡先にお問い合わせください。他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲でご提供させていただきます。

### 【個人情報の保護】

この研究に関わって取得される特定健診データ、医療・介護費データ、岩木健診データは、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

○個人情報と研究用 ID を結びつけない（対応表を作成しない）場合

取得した特定健診データ、医療・介護費データ、岩木健診データは、解析する前にあなたの氏名・住所・生年月日等の個人情報とは一切結びつかないようにした上で、研究責任者・研究分担者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。そのため、同意を取り消すこと、研究への参加を取りやめることはできません。

研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報明らかにしないようにした上で、弘前市の許可を得た上で、学会発表や学術雑誌で公表します。

取得した特定健診データ、医療・介護費データ、岩木健診データは厳重な管理のもと、弘前市と弘前大学の連携協定が定める2024年3月31日まで保存されます。保管期間終了後には、パソコンのハードディスク上から削除することで廃棄します。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば弘前市の確認と許可を経た上で開示いたしますので下記までご連絡ください。

尚、提供いただいた試料・情報の管理の責任者は下記の通りです。

試料・情報の管理責任者

所属：東京大学薬学系研究科医薬政策学

氏名：滕麗達

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院薬学系研究科・薬学部長の許可を受けて実施するものです。

この研究に関する費用は、JST（国立研究開発法人科学技術振興機構）から支出されています。

○利益相反がある場合

本研究は、JSTよりCOIプログラム、COIプログラムR4年度加速支援、COI-NEXTプログラムの資金の提供を受けて実施いたしますが、東京大学薬学部利益相反アドバイザー機関に報告し、利益相反マネジメントを適正に行っています。研究の実施や報告の際に、JSTに都合のよい成績となるよう意図的に導いたりすることはありません。

尚、あなたへの謝金はございません。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

2023年5月

【連絡・お問い合わせ先】

研究責任者：滕麗達（てんりだ）

連絡担当者：正路章子（しょうじあやこ）

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学薬学系研究科医薬政策学講座

電話：03-5841-4828（内線 24828） FAX：03-5841-4829

e-mail：utheor@outlook.jp